

第9回北杜市上下水道事業審議会

日時 令和5年1月27日（金）午後1時30分から

場所 高根総合支所 2階大会議室

出席委員 柴田典男、小澤功宜、内藤歳雄、植松俊彦、比奈田善彦、三井建一、小林喜文、小林隆次、齊木和茂、秋山広志、草野香壽恵

事務局 浅川和也（上下水道局長）、小澤栄一（上下水道総務課長）、浅川博之（上下水道施設課長）、鈴木彰（上下水道維持課長）、有賀英敏（総務担当）、清水香（営業担当）、

議題 （1）水道料金・下水道使用料の改定について

その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人 8名（定員10名）

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（省略）

3. 議事

（1）「水道料金・下水道使用料の改定について」

議長： 「水道料金・下水道使用料の改定について」を議題とします。

それでは、事務局は説明をお願いします。

事務局： 資料に基づき説明。

議長： これらの点について、ご意見、ご質問がありましたら、挙手にてお願いします。

委員： 当初、令和4年度1月に答申を出す予定だったものを令和4年度3月に中間報告を提出し、令和5年度の年度末に答申書を提出するという計画に変更されたということでしょうか。

事務局： はい。お見込のとおりです。しかし、現時点では、答申書を何年の何月に提出するという明確な時期をお伝えすることはできません。ただし、目安として先ほ

どご説明いたしました水道ビジョンの各種計画の進捗状況に合わせて答申をするという形になると思われます。

委員： 基本的な経済情勢の認識が委員の私たちと事務局で異なっていて意見がかみ合わないことが出てくると思うのですが、昨今の経済情勢を踏まえ、いつ収束するかわからないインフレの状況の中で、市民の方に料金の値上げを説明し納得してもらうのは難しいと思います。多くの意見が出てくると思います。その辺の経済情勢に関する考えを教えてください。

事務局： 現時点で、事業を行っている中で感じていることを申し上げますと、今年度、電気料金の高騰を受け、電気代を払えるかわからない状態にあります。徴収した使用料の中で事業を運営していくことが原則であるため、単にコストを料金に転換していくのではなく、どのようにして削減していくのかについて、最初に考えるべきだと考えています。

委員： 行政が民間と一緒に値上げをしているようだと景気が悪くなるだけだと思います。これまでの話だと、企業経営の方に重心がかかり過ぎていると思います。

事務局： おっしゃる通りだと思います。あくまでも上下水道事業の継続的な運営に重きを置いてきたわけですが、基本計画を策定するにあたっては、市内の経済状況を踏まえ、政策的な要素も盛り込んでいきたいと考えております。

議長： 次に、事務局は水道料金と下水道料金の改定に関する中間報告（案）の説明をお願いします。

事務局： 資料に基づき説明。

議長： それでは、ただいまの説明につきまして何か意見や質問がある方はお願いします。

委員： 総論の2行目において、「今後は温暖化の影響などにより飲料水の確保も難しくなってくることが予想されます」と記載していますが、科学的なエビデンスはあるのでしょうか。

事務局： 科学的なエビデンスというよりは一般論です。しかし、水質面で申し上げますと、すでに市内水道水源から大腸菌が検出されております。これを踏まえて、「今後は温暖化の影響などにより飲料水の確保も難しくなってくることが予測されます」と記載しましたが、よりよい表現がございましたらご教示願います。

事務局： 温暖化の影響などによりの部分を水質の悪化などによりに訂正するのはいか

がでしょうか。

委員： 水質の悪化という表現だと不安にさせる表現であり、あまりよくないと思います。

事務局： 分かりました。それでは、「水源を取り巻く環境の変化」という表現はいかがでしょうか。

委員： 良いと思います。その表現でお願いします。

事務局： 承知致しました。

4. その他

議長： 北杜市広報誌の令和4年8月号において、北杜市上下水道局が国土交通省のモデル事業に選定され、官民連携による下水道事業の課題解決に向けた取り組みを検討しているという記事が掲載されていましたが、そちらの事業の進捗状況について教えてください。

事務局： 昨年の春から国土交通省による下水道のモデル事業に本市を選定していただきました。今年度行ったことは、協議がほとんどです。北杜市は施設が多く非常に複雑な構造をしているというご感想を持たれたそうです。当初私どもが想定していたのは、下水処理施設の統合が進まない問題の解決です。下水処理施設の統合の計画を立て様々な施設統合の組み合わせを考えたのですが、この事業を行っていくのにもお金が必要であり、また事業を執行するためのマンパワーが足りず、なかなか進まない状況にあります。当初は、官民連携の手順による解決を検討していましたが、北杜市の下水道事業は短期的に改善を図ることが非常に難しいため、段階的に効率的な運営ができる体制に徐々に移行していく必要があることを確認することができました。来年度以降は、実行可能な部分から順次着手し、引き続き、国土交通省のご支援をいただきながら、目標に向かっていきたいと考えております。

議長： 国土交通省とのモデル事業について話す機会がなかったため、事業の進捗状況について気になっていましたが、確認することができて良かったです。ご説明ありがとうございます。進捗状況を広報などでお知らせしていただくと助かります。今後とも期待をしています。

議長： 他にご意見、ご質問のある方は、挙手をお願いします。

委員： 特にありません。

5. 閉会

以上
(午後2時41分終了)

上下水道事業審議会	会	長	草野香壽恵
	議事録署名員		秋山広志
	議事録署名員		柴田典男